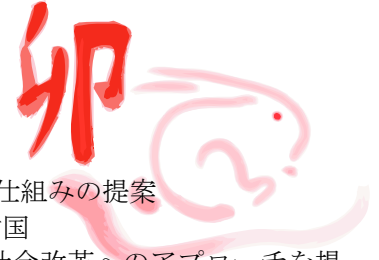


皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます

2011年1月

良い新年をお迎える事とお喜び申し上げます。多年挑戦し続けた、リハビリ医学改革は、現実のものになろうとしています。資料に記載のWEBでご覧いただけますが、「障害の克服」手段を皆様に提供できると確信できるようになりました。本年は、多くの方が自立生活できる社会のあり方を発信していきたいと考えています。発信は「映像製作者からの質問」の通り、ビデオ・アニメで行いたいと考えています。

私が20年間私費を投じて取り組んできた理由にもなっています。



コンセプト (ビデオ・アニメ)

- 1 リハビリテーション (リハビリ) 医学の研究は手段
- 2 目的は社会改革
- 3 次世代を、例えば君(映像製作者)や私の子供を、高齢社会で疲弊させない仕組みの提案
- 4 あるべき姿は、自立的な生活をする国民 (高齢者・障害者含む) が暮らす国
- 5 慶應義塾大学環境情報学部武藤佳恭教授と合意したコンセプト内容は「社会改革へのアプローチを提案する。」です。

「映像製作者からの質問」①～③に対する回答

①普及・推進

A: タキザワ式リハビリを宣伝したいのか?

YES

B: 単純にリハビリ医学の推進・普及がしたいのか?

考えとして推進・普及は間違っていて、

「リハビリ医学の改革・リストラ (再構築)」を知らせたい。

ここまで①普及・推進は「1手段」に関する内容で、学術的な研究と機序解明が必要であり、現在進んでいる。すでに一部公開済みでもあり、この点のビデオ作成は急がない。

以下が、今回の研究に付随した社会技術面の提案になる。

②危機意識

A: 日本全体の地方自治体が、打ちだしている政策に対する危機意識を、国民に持たせたいのか?

YES

B: 若者に対する、政策の危機意識を持たせたいのか?

YES

C: 政策を変えるべきと主張したいのか (+解決策)?

YES

(+解決策)

国民が「答え」を自律的に見出す手助けをする。

D: 藤沢市・茅ヶ崎限定で、危機意識を芽生えさせたいのか?

上記に含む

③グローバル展開

A: もはや国内に留まらず、海外に向けて発信していきたいのか?

YES

企画は「社会改革へのアプローチを提案する」という非常に大きなものです。

いくつか説明しましたが、具体的なシーンは頭の中にあります。私が、これまでの研究を基礎とし、確立したコンセプトに従って、ビデオを作るとすぐ出来ます。

しかし、理解に段階を経た経験が必要なので、つい理解済みの本人は内容を飛躍させてしまい、理解する人が少なくなるとおられます。

お示しする具体的なシーンにしたがって作るのではなく、数度の話し合いの中から、君たちがくみだして、ビジュアルにするほうが、見る人に理解されると思います。話し合いの中で進めることを希望します。

資料

<http://jiritu.net/>

<http://www.youtube.com/user/biophiliareha>

<http://www.youtube.com/user/worldpeopplelove#p/a>

/a

英文

<http://wbra.info/>

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

滝沢茂男 (理事長)

(NPO)高齢市民が活躍するための社会技術研究会

〒251-0871 藤沢市善行 7-4-5

takizawa@civilnet.org

